

### 上毛町青少年健全育成町民会議だより

「命」をテーマに、町内各小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象に実施した「第10回上毛町青少年健全育成に関する標語コンクール」の入選作品を紹介します。

遊ぶのも 勉強も 大事な命 あつてこそ	友枝小学校 5年 立川 優太
大切に 小さな命 守ろうよ	西吉富小学校 5年 東 秀汰
やめようよ いじめは 命にかかわるよ	友枝小学校 5年 岡田 愛夢
いやなこと あつても自殺 いけないよ	南吉富小学校 5年 橋本 大翼
命とは 世界で一番 大事だよ	南吉富小学校 5年 筒井 もえ
まもろうよ みんなのいのち 声かけて	南吉富小学校 6年 徳田 慶斗
大切に 命はひとつ 失うな	西吉富小学校 6年 白川 成龍
ごめんねは ことばになおして こうどうに	友枝小学校 6年 岡田 銀次
ちよつと待て 相手が傷つく その言葉	友枝小学校 6年 是石 留菜
命はね 親からもらった 宝物	唐原小学校 6年 白田未来人
考えて きみの命の 大切さ	上毛中学校 1年 高橋 太郎
つなげよう 命のバトン 未来へと	上毛中学校 1年 谷本 菜子
その言葉が ちいさな命 まもる「盾」	上毛中学校 1年 岩井 雪乃
ありがとう 命があること 感謝しよう	上毛中学校 1年 吉留 希咲
壊れるよ 相手の心が 一言で	上毛中学校 1年 熊谷 拓人
「やめようよ」その一言で 救われる	上毛中学校 2年 黒川 真弥
わが命 大事に思う 人がいる	上毛中学校 2年 穴田 祥一
ありがとう 一生一度の この人生	上毛中学校 2年 井上 百弥
命はね 包まれている 愛情で	上毛中学校 2年 金井田琴美
SOS なやみこまずに 相談を	上毛中学校 2年 奥西 杏樹

●問い合わせ先 上毛町青少年健全育成町民会議事務局(上毛町教育委員会) TEL 72-3111(内線174)

### 災害発生時における郵便局との協力に関する協定を締結しました

8月27日(木)、大規模災害に備えて、日本郵便株式会社(南吉富郵便局、大平郵便局、宇佐四日市郵便局)との間で「災害発生時における上毛町と上毛町に属する郵便局の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、万一災害が発生した場合、避難所に避難している方へ迅速かつ円滑な郵便物の配達や、避難所における臨時の郵便差出箱の設置などの協力、郵便局ネットワークを活用した広報活動などについて、災害時に必要な対応を円滑に遂行するために必要事項を定めたものとなっています。



●問い合わせ先 総務課 TEL 72-3111(内線113)

### 宝くじの助成でゆいきららに備品を整備しました

～一般コミュニティ助成事業～  
一般財団法人自治総合センターによる宝くじの助成金を受け、西友枝体験交流センター「ゆいきらら」に備品を整備しました。宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業です。

今回購入したのは、テーブル・椅子・パラソルを6セット、テント4張、物置1棟です。今後のイベントなどで活用され、皆さんのお目にかかることになります。



### 宇島鉄道研究会よりお知らせ

宇島鉄道は、豊前市の宇島駅から、上毛町有野の耶馬溪駅までの17.7キロメートルを結んでいた軽便鉄道です。全線廃止になる約80年前まで、成恒・安雲・宇野・友枝・唐原・原井の区間を通っていましたが、現在は一部分の線路や駅の跡が残っているだけです。この失われつつある地元の歴史的産業遺産を研究・検証するため、私たちは研究会を結成しました。

鉄道に関する写真や切符・時刻表など資料をお持ちの方はぜひ、ご連絡ください。また、げんきの杜で月例会を開催しています。興味のある方は、お問い合わせください。

●問い合わせ先 宇島鉄道研究会 会長 奥田 尚志 TEL 090-2505-8551(古原 好規)



軽便鉄道列車の最後尾 友枝駅にて 安本大作氏(土佐井)所持

一川柳  
今日を生き明日を支える万歩計  
こだわりを捨てれば明日がよく見える  
物差しを変えて明日を押しはかる  
オレだオレ妻はだまって電話切る  
こだわらずいつも笑顔で聞き流す  
こだわったブランド品が色あせて  
負けは負けちよつとのことでも敗者です  
広い世もこだわり過ぎて狭くなる  
息弾み帰って来るなりおやつ何  
川は荒れ山噴き上げて世はデモる  
こだわりを時に意地だと誤解され  
人生を詠む鉛筆は丸く研ぐ

### 一川柳

桐村 佳苗 選

白木すなえ 内尾 一実 奥 昭仁 小出石美典 小林 正文 田中 辰生 中島 新一 林 嘉子 百留律規子 平崎 真人 横川 洋子 桐村 佳苗

語り部の皺の深さや原爆忌  
風入れてくつろぐ湯宿谷紅葉  
ことごと煮込む総菜秋の暮  
秋立つや一錠減りし処方箋  
リース編む妻の指先夜の長さ  
手に揃ひ零すうれしさ今年米  
はたく手に響く黒々落葉焚  
音はしく鍋のきんびら秋の色  
包丁の身動きできぬ南瓜かな  
夕涼やランブの下のパーベキユ一

吉本サツキ 吉本 友一 山本美弥子 安枝 俊子 宮野 和子 藤本 正吾 藤本 和彦 飯田 哲雄 飯田勢津子 信安千代子 名取 元子 中山 隆雄 中山 隆雄 中野美智子 筒井 徳子 田長丸桂子 末久 正子 熊谷 文子 熊谷 邦子 桐村 佳苗 木下テル子 小川 恵子 岡山キヨミ 尾形 忍 大木本法通 大石 敏子 内尾 一實 白木すなえ 岩花 太美 井ノ口陸子 荒巻 勝朗 秋吉美津恵 秋吉 晴子 尾形 忍選

一短歌  
二千年それが何じゃと老病死御正忌み堂に繰り返し読む  
秋風に揺るるコスモス眺むれば幼き日々の蘇りくる  
妹は姉のかたみの夏目わん我に 一服抹茶をくるる  
登山靴リュックを新調若返らんとツートンカラーのえん  
じを好む  
輝ける大空の下ひと休みバレンタインデーのチョコを渡  
せり  
総会のため雇われる議長職ワンパターンにして何事もなき  
ビールなき運動会の昼食はただただ時がゆっくり過ぎ行く  
三人目子に先立たれた老いし母迎えた初盆会話にならず  
高畑 広視

連歌 二反田和美

初秋や書肆に新刊書の匂ひ  
一徹の寝ゴザはみ出す軒かな  
土地に慣れ姑にも慣れて梅漬くる  
風もなくゆるるコスモスバステル画  
飛火してとりの庭に曼珠沙華  
持ち替へてみても重たき西瓜かな  
アイロンの折目きちんと今朝の秋  
連れ添ひし長き歳月とろる汁  
語り部の皺の深さや原爆忌  
風入れてくつろぐ湯宿谷紅葉  
ことごと煮込む総菜秋の暮  
秋立つや一錠減りし処方箋  
リース編む妻の指先夜の長さ  
手に揃ひ零すうれしさ今年米  
はたく手に響く黒々落葉焚  
音はしく鍋のきんびら秋の色  
包丁の身動きできぬ南瓜かな  
夕涼やランブの下のパーベキユ一

吉田美代子 馬場 静香 吉田美代子 正座して向かふ文机望の月  
白壁の高き空き家や凌霄花  
コスモスや幼な馴染の便り読む  
初秋や書肆に新刊書の匂ひ  
一徹の寝ゴザはみ出す軒かな  
土地に慣れ姑にも慣れて梅漬くる  
風もなくゆるるコスモスバステル画  
飛火してとりの庭に曼珠沙華  
持ち替へてみても重たき西瓜かな  
アイロンの折目きちんと今朝の秋  
連れ添ひし長き歳月とろる汁  
語り部の皺の深さや原爆忌  
風入れてくつろぐ湯宿谷紅葉  
ことごと煮込む総菜秋の暮  
秋立つや一錠減りし処方箋  
リース編む妻の指先夜の長さ  
手に揃ひ零すうれしさ今年米  
はたく手に響く黒々落葉焚  
音はしく鍋のきんびら秋の色  
包丁の身動きできぬ南瓜かな  
夕涼やランブの下のパーベキユ一



### 一俳句

暮れて行く水の明りや螢の光  
弾力の失せし輪ゴムや秋暑し  
どつしりと耐へて残暑の高台寺  
雁や海の匂ひの封書くる  
叱ること芋の葉叩く野分かな  
松の影畳みに揺るる良夜かな  
しみじみと妻との月日墓洗ふ  
深々と村の眠りや天の川  
跳び箱の着地決まりていわし雲  
生ハムのほどよき塩気今朝の秋  
正座して向かふ文机望の月  
白壁の高き空き家や凌霄花  
コスモスや幼な馴染の便り読む  
初秋や書肆に新刊書の匂ひ  
一徹の寝ゴザはみ出す軒かな  
土地に慣れ姑にも慣れて梅漬くる  
風もなくゆるるコスモスバステル画  
飛火してとりの庭に曼珠沙華  
持ち替へてみても重たき西瓜かな  
アイロンの折目きちんと今朝の秋  
連れ添ひし長き歳月とろる汁  
語り部の皺の深さや原爆忌  
風入れてくつろぐ湯宿谷紅葉  
ことごと煮込む総菜秋の暮  
秋立つや一錠減りし処方箋  
リース編む妻の指先夜の長さ  
手に揃ひ零すうれしさ今年米  
はたく手に響く黒々落葉焚  
音はしく鍋のきんびら秋の色  
包丁の身動きできぬ南瓜かな  
夕涼やランブの下のパーベキユ一

尾形 忍選

### Cultural Events

Over the last few months I have been fortunate enough to see numerous cultural events and discover many new things about Japan.  
For example, I recently saw Kagura for the first time. I enjoyed a performance from the Tomoeda Kagura group in the light of the moon at Mt. Matsuo. Everything was so interesting! First, I love the traditional music, listening to it I felt like I was being taken back in time. I do wonder how Mr Oishi manages to play the flute for such a long time. Second, the costumes are all wonderful, with the intricate colourful designs. In particular the Oni mask looks amazing, I'd really like to try one on.  
I have to admit that I don't always understand the stories, but I think I should challenge myself to read the Kojiki to find out more about Japanese myths. Even if I didn't understand everything, the Tomoeda Kagura group were very entertaining and I look forward to seeing them perform again.  
Until next time, Tom

### 文化イベント

この数ヶ月間はうれしいことに様々な文化イベントを見ることができて、日本について新しいことを学びました。  
例えば、最近初めて神楽を見ました。月の光の中で友枝神楽が松尾山で舞うのを見て楽しみました。上演されたすべてがとても面白かったです。はじめに演奏された、伝統的な音楽が好きになりました。そのメロディーを聴いて時間が戻ったみたいな感じがしました。しかし、大石さんはどうやってそんなに長時間、神楽笛を吹けるのか不思議に思いました。そして、明るくて模様が複雑な神楽の衣装は、全部素晴らしいです。特に、鬼の面はすごくきれいで、ぜひかぶってみたいです。  
まだ話があまりわかりませんが、日本の神話をもっと知るために、古事記を読むことに挑戦したいです。話のすべてを分らなくても、友枝神楽は本当に面白かったので、もう一回見たいと思いました。  
また今度、トム

